

欧州市場の基礎を徹底解説！

松崎美子

2019年10月9日

20時～21時



主催： 트레이ダーズ証券

セミナー内容

- 第一部 ポンド円取引基礎知識： 取引高と動く要因
- 第二部 ポンド円取引基礎知識： 金融政策
- 第三部 ポンド円取引基礎知識： 経済指標、その他
- 第四部 Brexit
- 第五部 マーケット展望

第一部

ポンド円取引基礎知識 取引高と動く要因

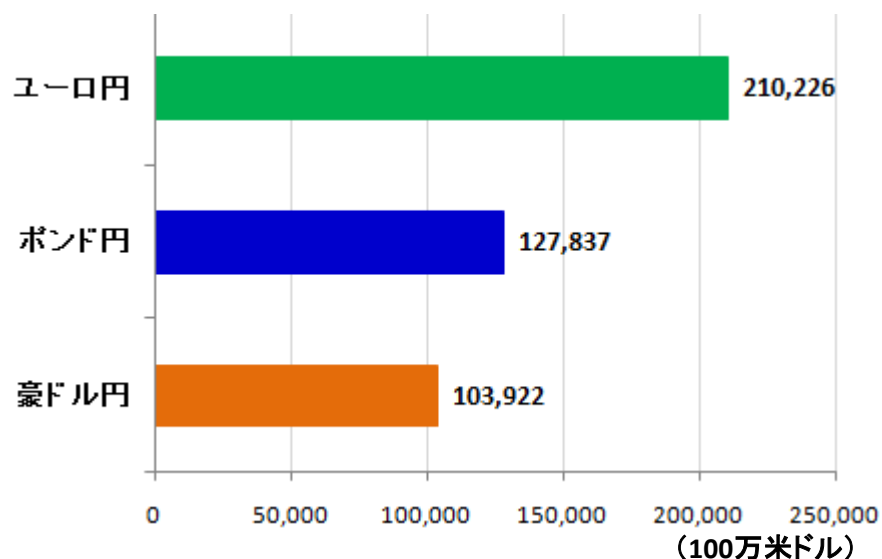


東京外為市場委員会資料

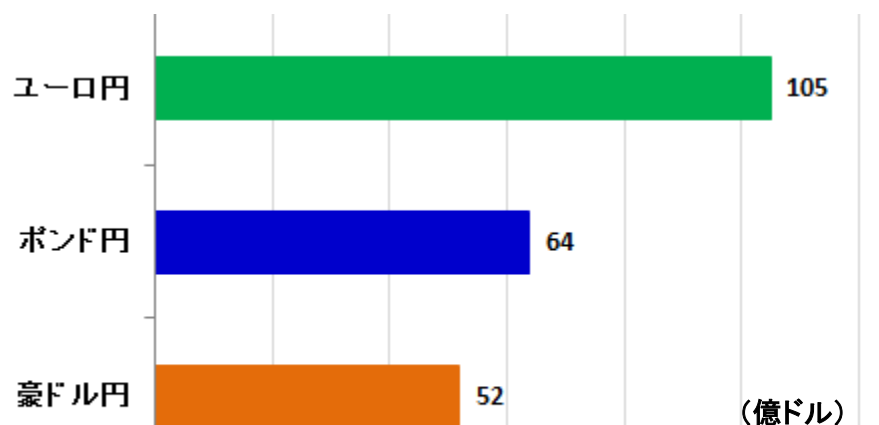
2019年4月

「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ」

2019年4月中出来高(スポット)



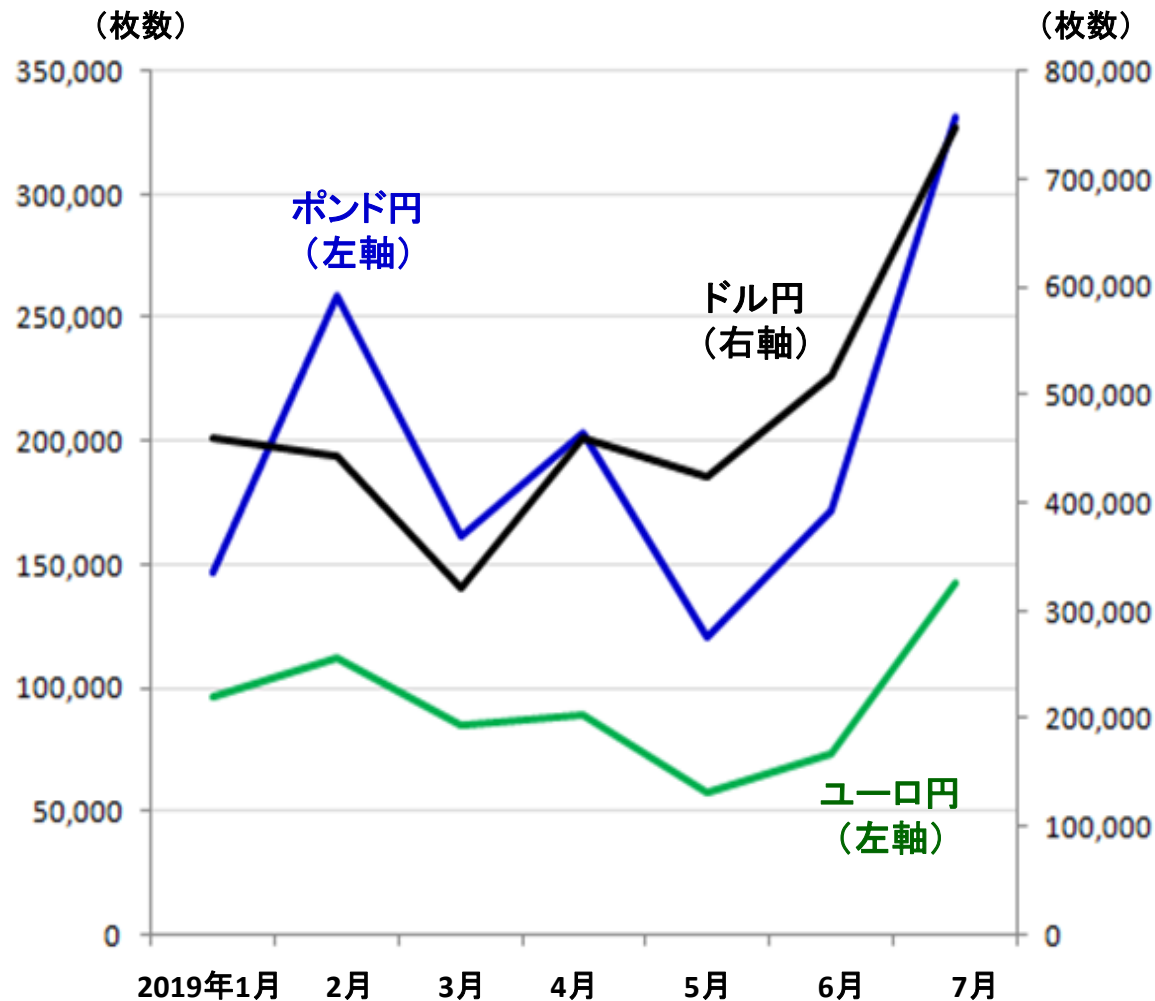
1日の平均出来高(スポット)



出典: 東京外為市場委員会 2019年7月23日

https://www.fxcomtky.com/survey/pdf_file/survey_20190723_jp.pdf

東京市場：ポンド円取引高推移



Brexitの影響もあり
ポンド円の取引高は
急速に増えている

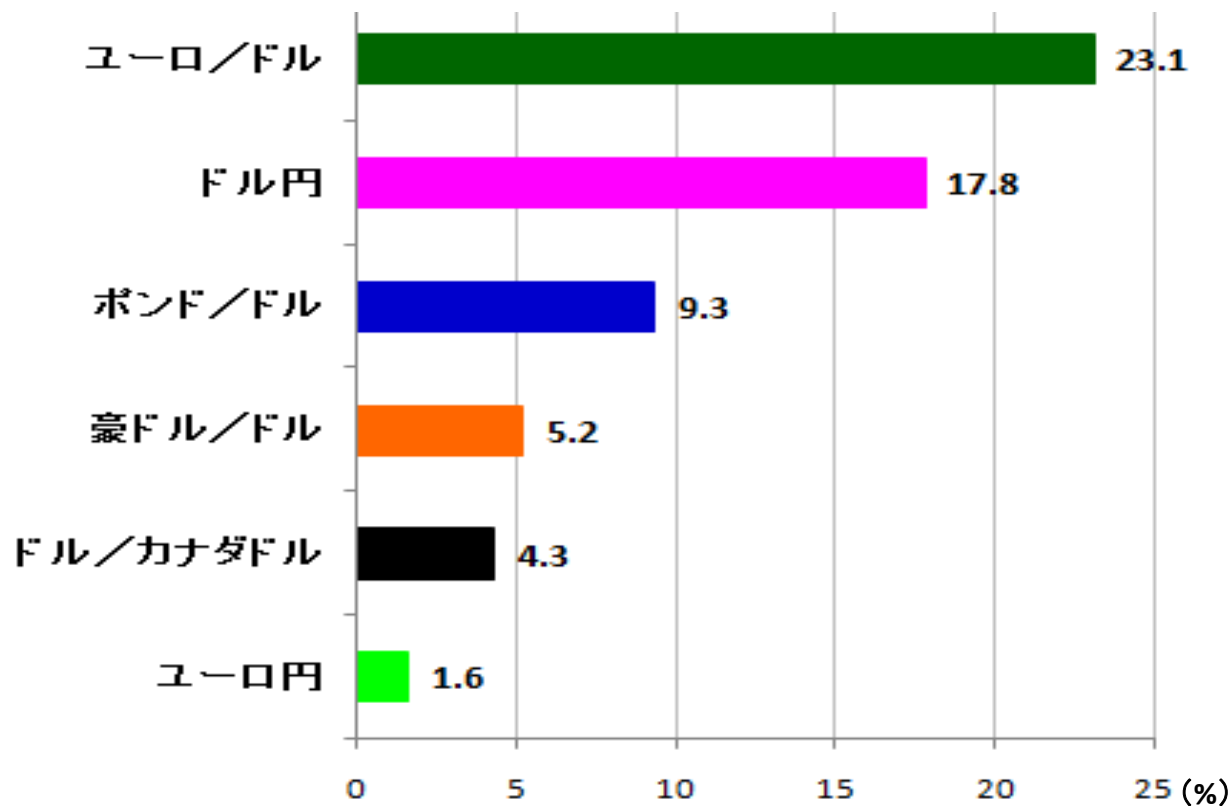
BIS 3年に一度のサーベイ結果 ①

BIS 「外国為替およびデリバティブに関する中央銀行サーベイ」
(Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Derivatives Market Activity)

最新版は、2016年版

次回は、今年12月発表予定

世界の取引通貨ペア比較

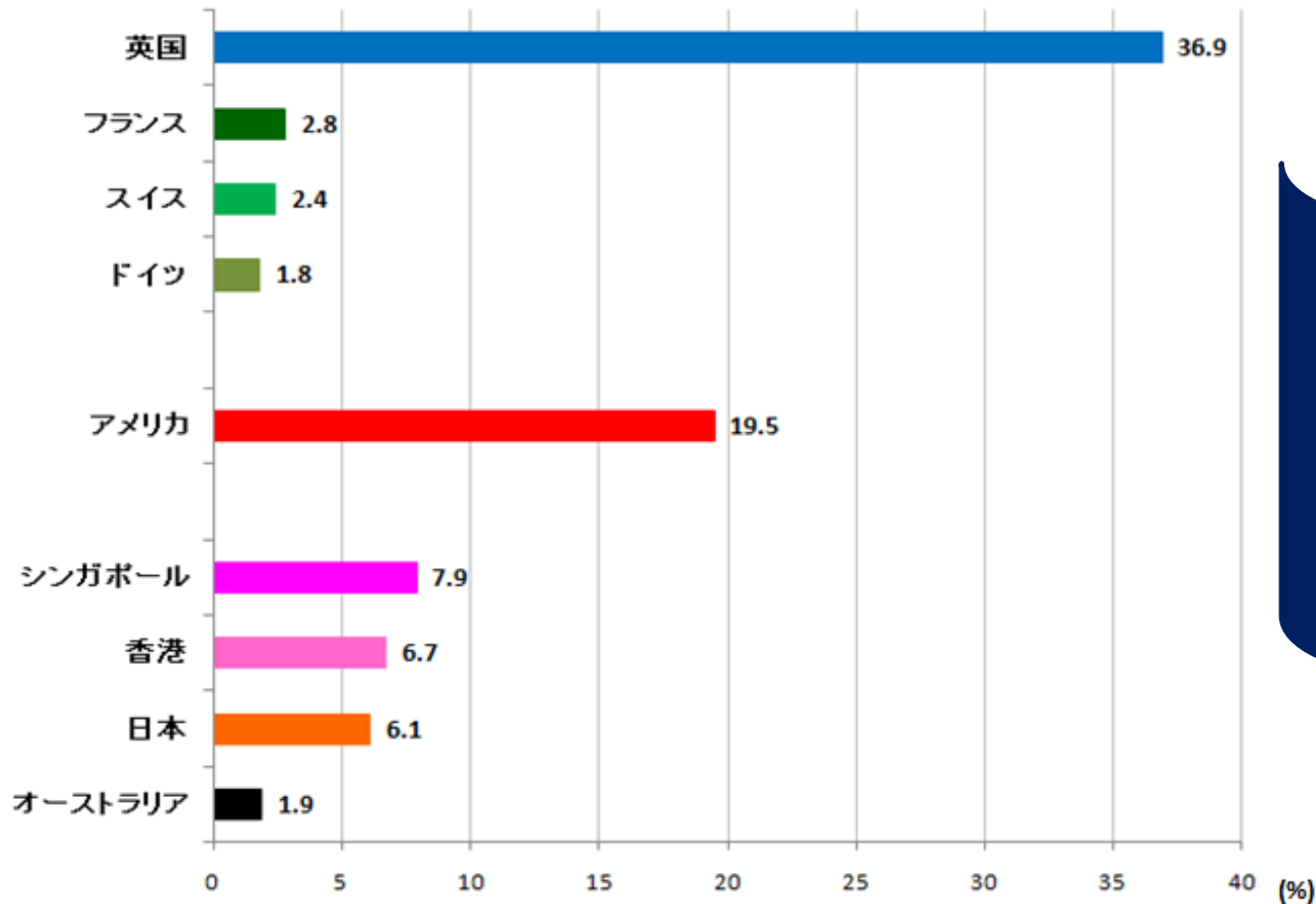


出典： BIS「外国為替およびデリバティブに関する中央銀行サーベイ」(2016年4月)

<https://www.bis.org/publ/rpfx16fx.pdf>

BIS 3年に一度のサーベイ結果 ②

地域別・FX取引高割合



取引高は
ロンドン市場が
断トツ大きい

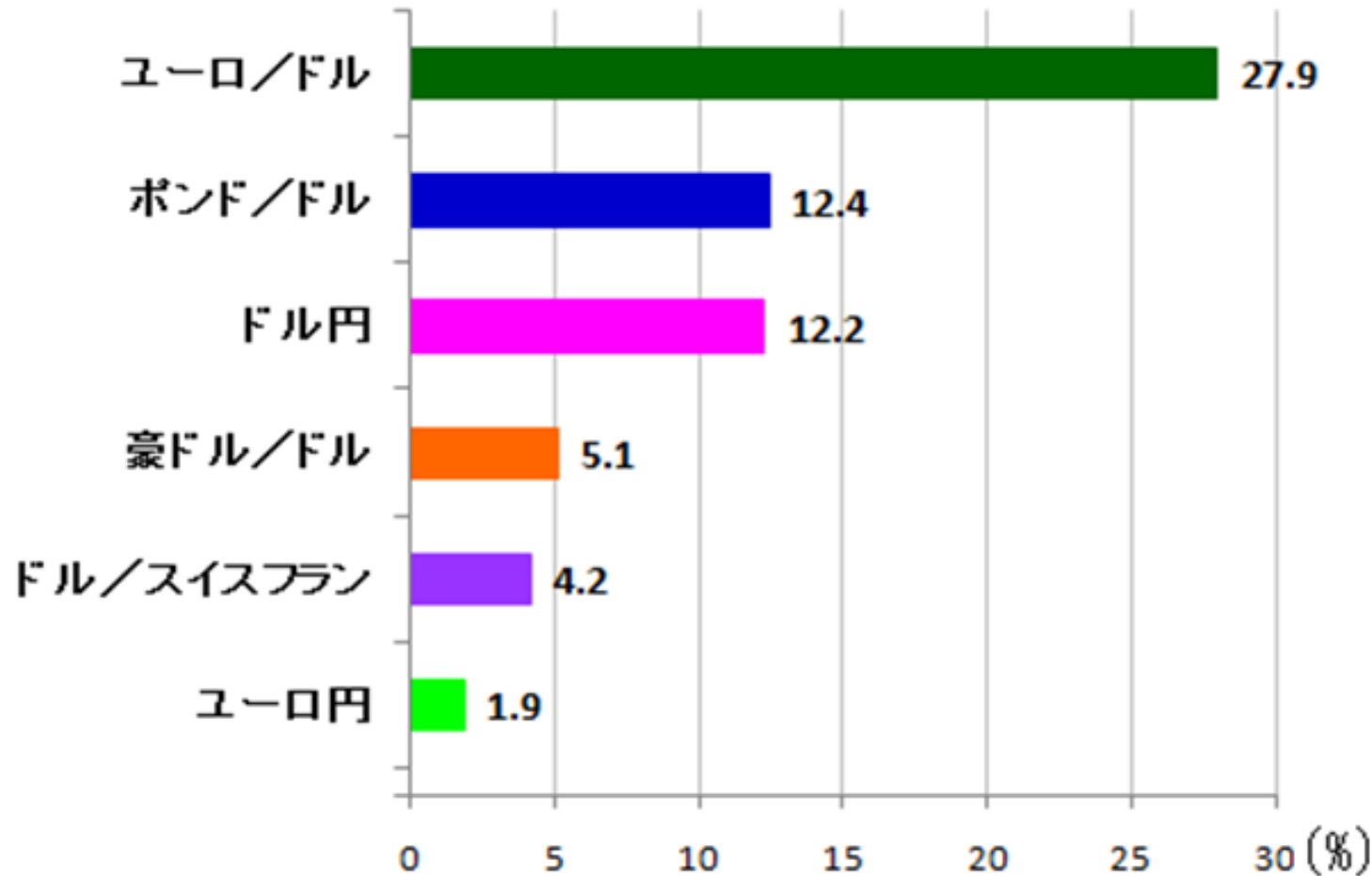
兼業トレーダーに
朗報♪

出典: BIS「外国為替およびデリバティブに関する中央銀行サーベイ」(2016年4月)

https://www.bis.org/publ/qtrpdf/r_qt1906.pdf

通貨別取引高 ロンドン市場

ロンドン市場では、ポンド取引量は2番目、円は3番目に多い



出典：英国中央銀行(2019年1月公表)

<https://www.bankofengland.co.uk/-/media/boe/files/markets/foreign-exchange-joint-standing-committee/semi-annual-fx-turnover-survey-results/results-of-the-foreign-exchange-joint-standing-committee-fxjsc-turnover.pdf?la=en&hash=645EB1F8B2E9AB05F523CF7A9B5D753459CFC598>

ポンドが動く要因

場合によっては
地政学リスク



政治

最近は
Brexit動向

解散総選挙？

金融政策

政策金利
方向性

中銀総裁
交代

商品市場

北海油田は
1999年が生産ピーク。

2005/6年以降
英国はエネルギー
輸入国となった

しかし、FTSE100 上場企業
時価総額ベース
トップ5のうち
2社が石油会社

そのため、エネルギー動向
の影響を受けやすい

経済

経済指標

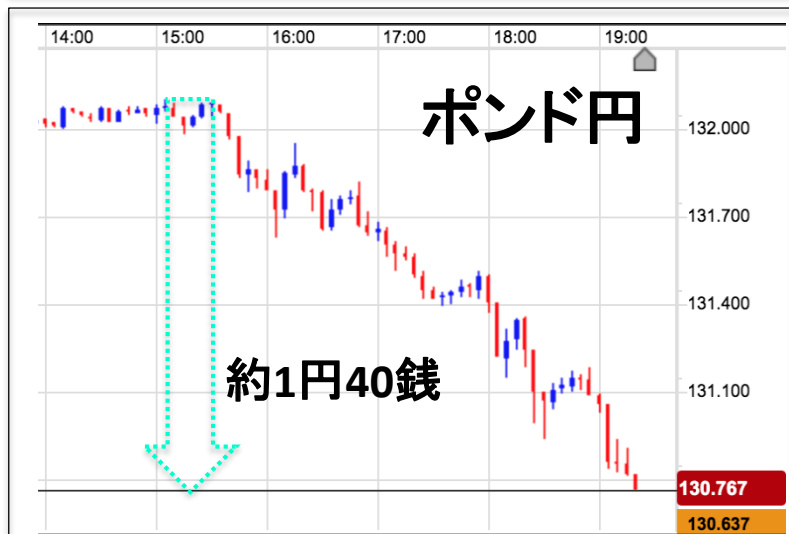
リセッション
リスク

要人発言

政治家

中銀関係者
企業トップなど

ポンド円の特徴



とにかくボラティリティーが高い

ボラが高いので
短期取引でも収益になる

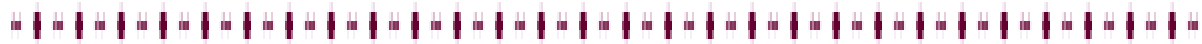
値動きが大きい
(ドル円の2倍くらい動く)

割と勢い付いた方向に走ることが多い



ドル円や、ユーロ円、豪ドル円など
他のクロス円取引の経験者にとっては
取引妙味がある通貨ペア

第二部



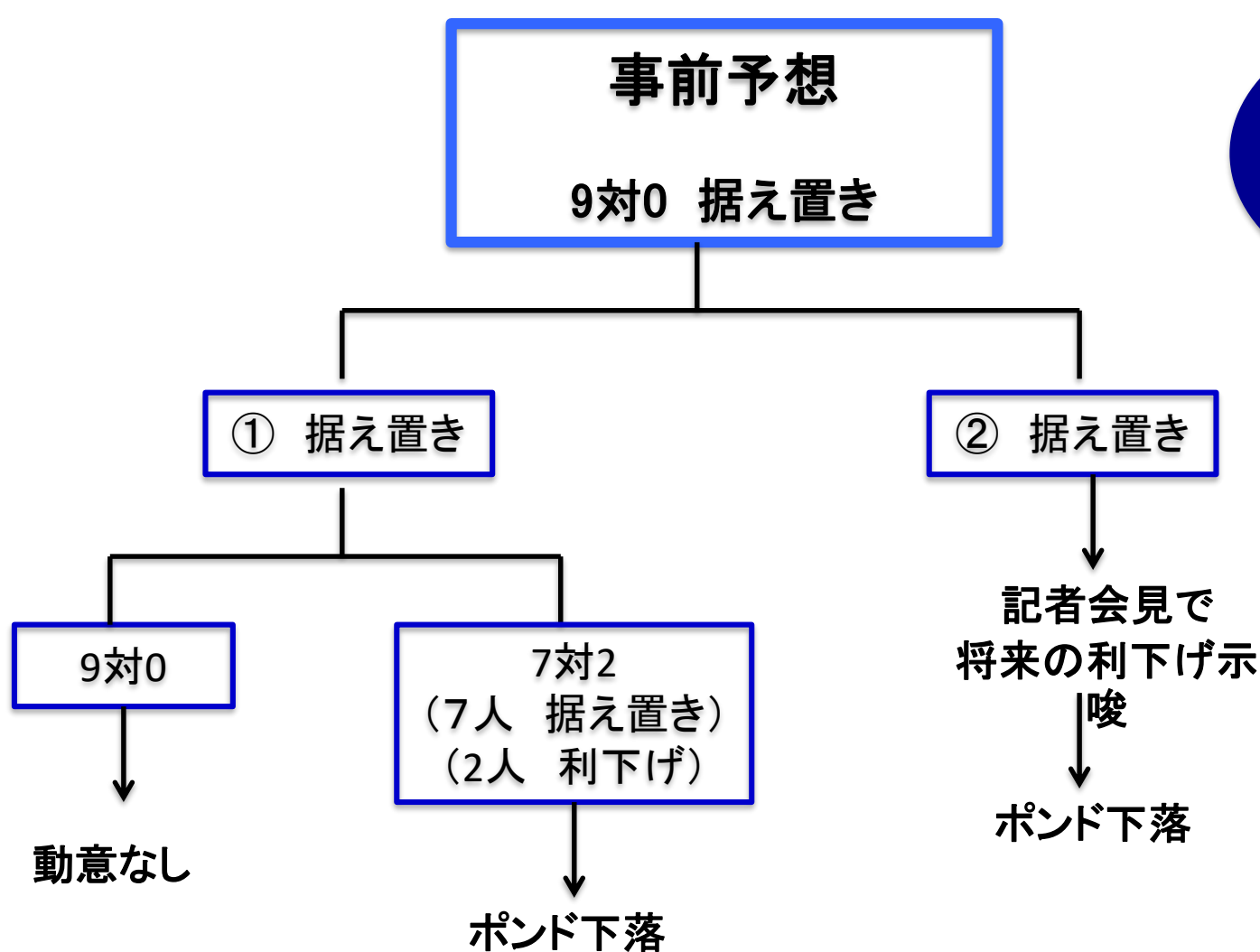
ポンド円取引基礎知識 金融政策



英国中央銀行(BOE)

金融政策理事会	6週間に一度（水／木曜日） 結果発表は、木曜日
金融政策発表時間	ロンドン 昼12時 （日本時間 夏20時、冬21時）
金融政策理事会での発表	政策金利・QE枠・議事要旨（投票配分含む）
マクロ経済予想	四半期インフレーション・レポート （年4回 2・5・8・11月）
金融政策決定の責務	物価安定の維持
インフレ・ターゲット採用	前年比でインフレ上昇率（CPI）2% （±1%のバンドあり）
ターゲット設定責任者	財務相
議会証言	四半期インフレーション・レポート発表数週間後 総裁を含む4名の理事が 財務省特別委員会で議会証言

議事要旨の投票配分について予習要！



織り込み済みの
反動に
注意する！

記者会見
にも注意

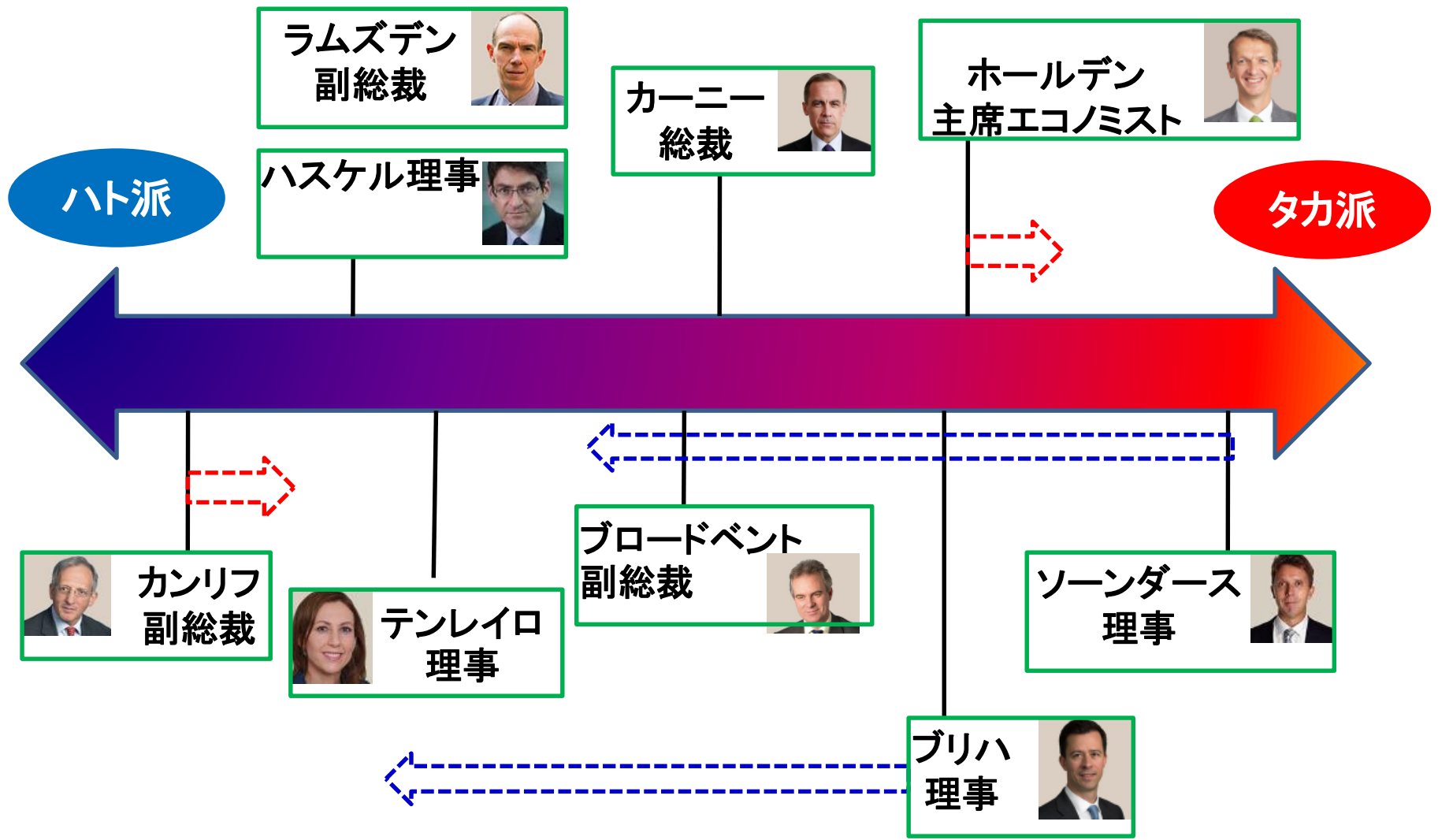
BOE インフレ・ターゲットの解釈



CPIが上下バンドの外に飛び出した場合、
総裁は財務相に対し、
理由を説明した
書簡を手渡す
義務がある

2%をメインに
±1%のバンドを
容認
(1%~3%)

英中銀 タカ派／ハト派表



ソーンダース理事講演

9月27日(金) 講演で驚きの「ハト派」的内容が出て、ポンド急落



ソーンダース理事

「合意なき離脱」が避けられた場合でも
利下げが必要となるかもしれない

タイヤから少しずつ空気が抜けるように、
英国経済の活力も徐々に低下している

金利のマイナス化は、避けるべきである。
英国の政策金利は、限りなくゼロまで下がるかもしれないが
若干のプラスを、底にすべきである。
必要であれば、国債購入を含む量的緩和(QE)の再開も
考慮すべきであろう

出典: 英中銀ホームページ

<https://www.bankofengland.co.uk/-/media/boe/files/speech/2019/shifting-balance-of-risks-speech-by-michael-saunders.pdf?la=en&hash=EB8C2ABD5399D64E71F506F586DF77942C291818>

議会証言は重要！

2・5・8・11月
四半期インフレーション・レポート発表
数週間後に
財務省特別委員会で議会証言実施



通常、総裁 + 3名(合計 4名)が出席

出席理事たちの発言内容に加え
タカ派/ハト派の
偏りにも注意する

第三部

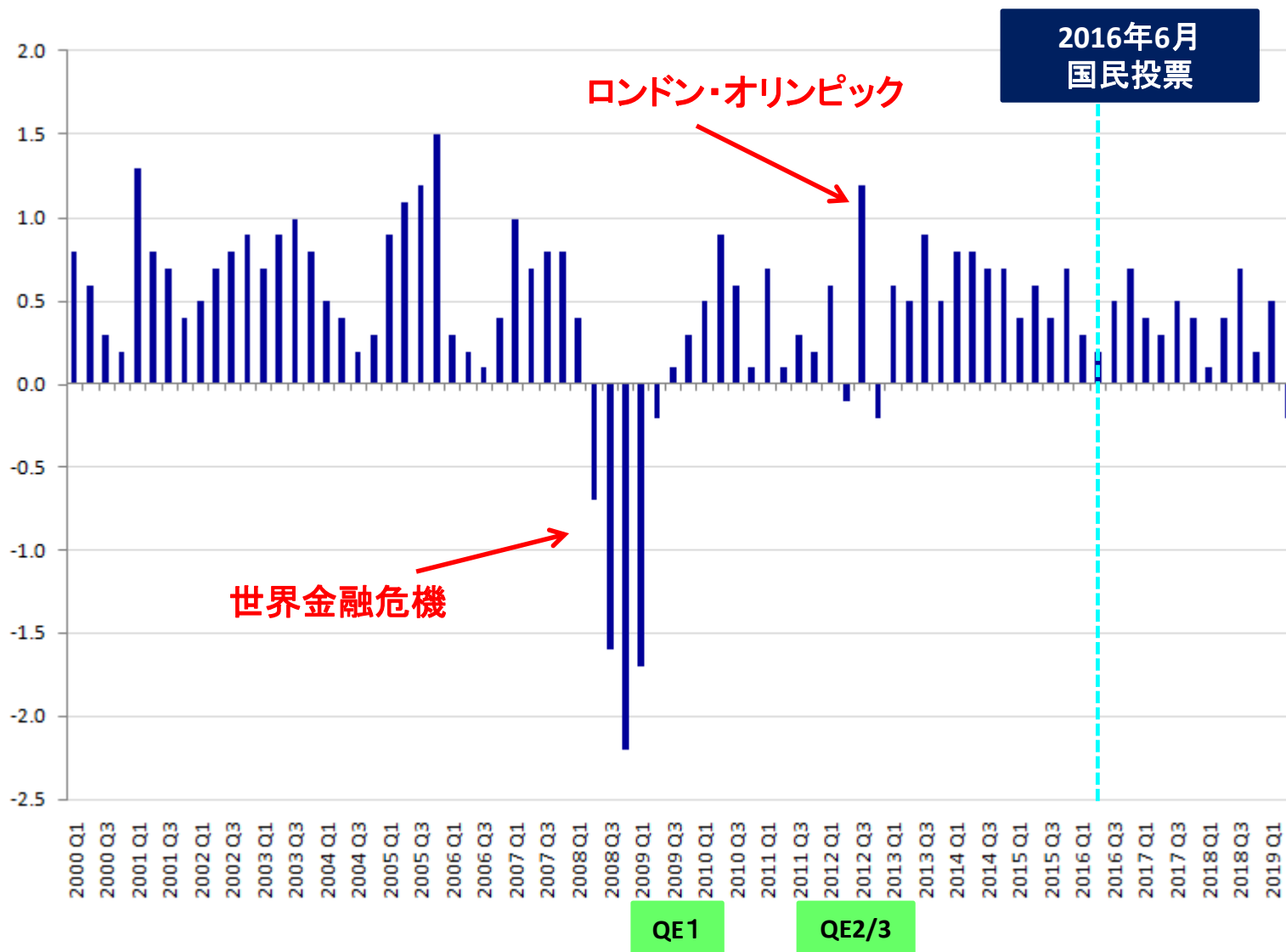
ポンド円取引基礎知識 経済指標、その他



英国・注目経済指標

経済指標	発表時期
CPI／コア・インフレ 速報値	毎月中旬
製造業・サービス業・建築業PMI	月初め
賃金上昇率(雇用統計の一部)	毎月中旬
住宅ローン申請件数	月末
小売売上高	毎月中旬

英GDP(2019Q2まで)



英国での過去のリセッション

リセッションは、5四半期継続

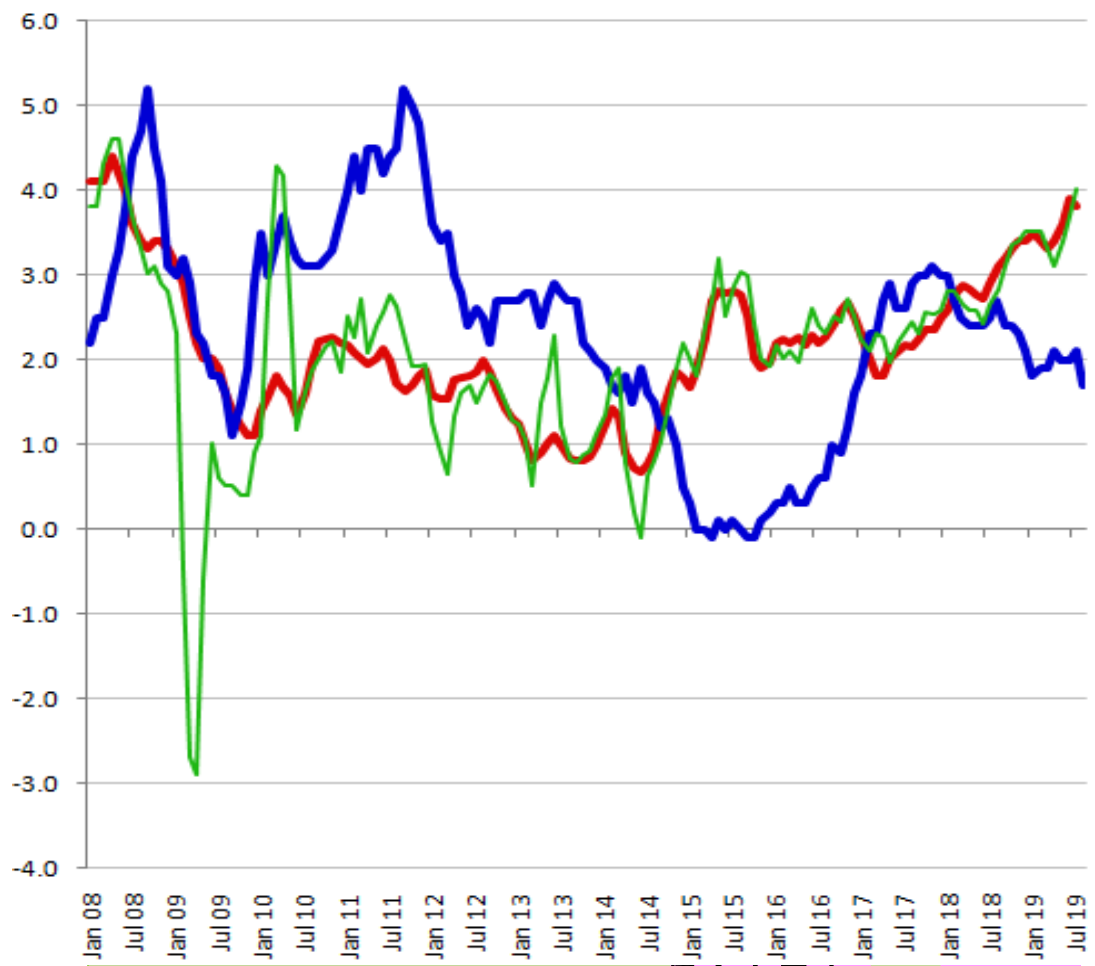
Table 2.1: UK recessions since 1955

	Number of quarters unless otherwise stated						
	Mid 1950s	Early 1960s	Early 1970s	Mid 1970s	Early 1980s	Early 1990s	Late 2000s
First quarter of falling output	1956Q2	1961Q3	1973Q3	1975Q2	1980Q1	1990Q3	2008Q2
Number of quarters till trough	2	2	3	2	5	5	5
Peak-to-trough fall in output (per cent)	0.4	0.7	4.1	2.0	4.2	2.0	6.3
Quarters for output to regain pre-recession peak from trough	1	2	11	2	8	6	16

景気の落ち込み度

インフレ率と賃金上昇率

(%)



ボーナス含む(7月)
+4%
(インフレ調整前)

ボーナスなし(7月)
+3.8%
(インフレ調整前)

CPI (8月)
+ 1.7%

インフレ率 > 賃金上昇率 賃金上昇率 > インフレ率

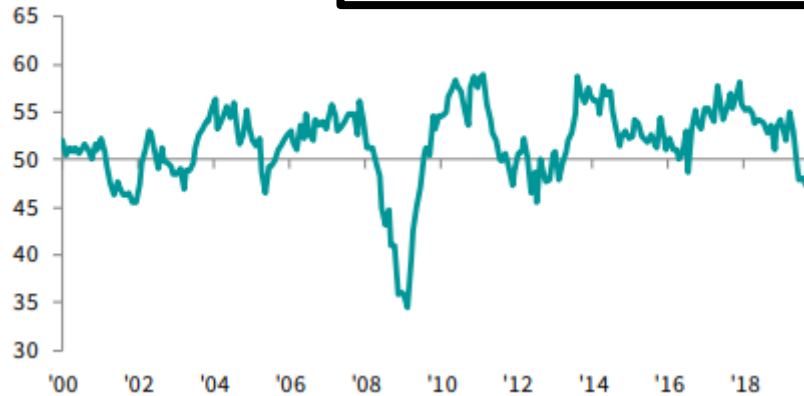
実質賃金減少
消費不振

実質賃金増加
消費好調

購買担当者景気指数(PMI)

Manufacturing PMI

sa, >50 = improvement since previous month



製造業PMI

Total Activity Index

sa, >50 = growth since previous month



建築業PMI

Services Business Activity Index

sa, >50 = growth since previous month

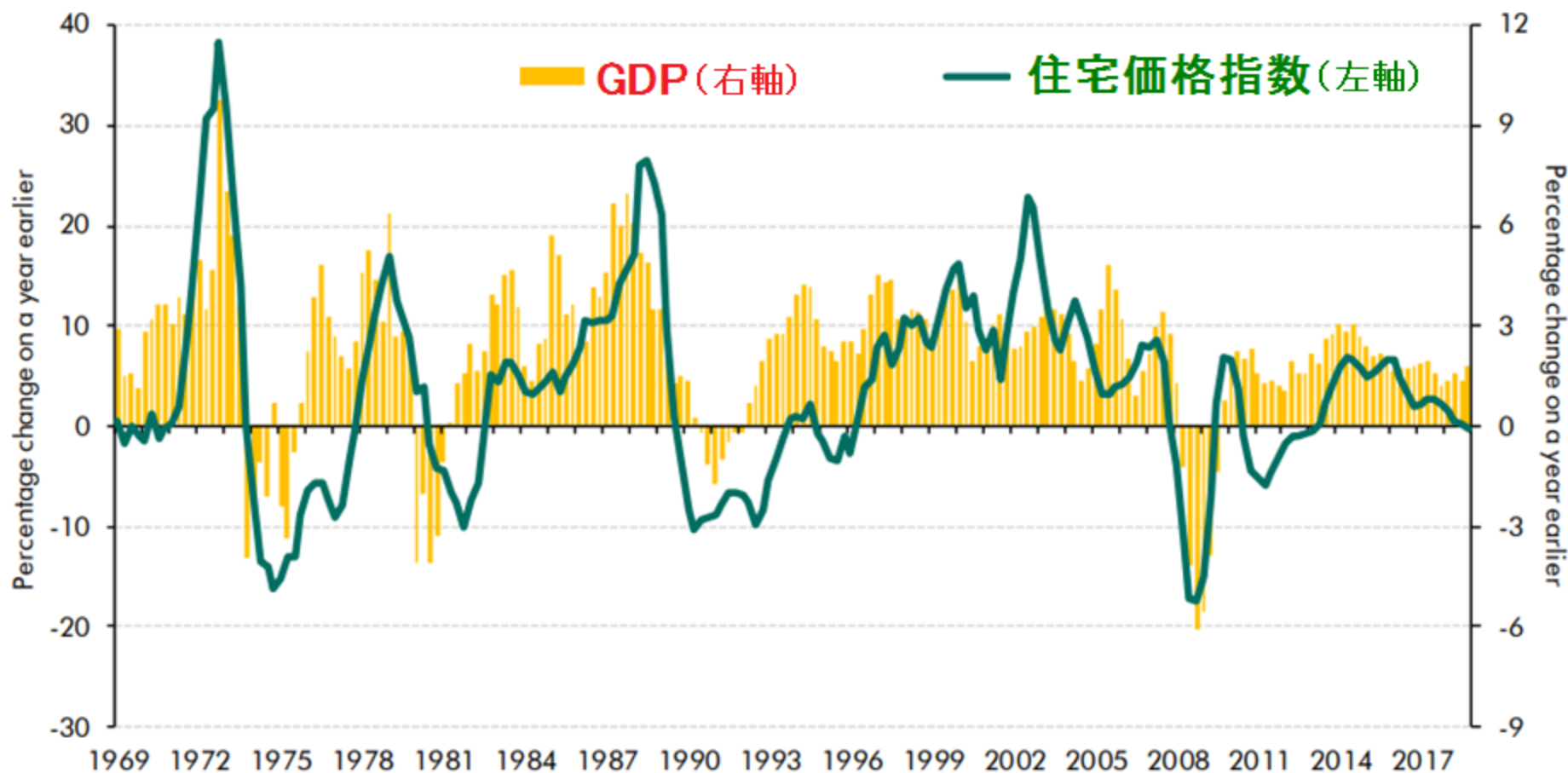


サービス業PMI

住宅価格伸び率とGDP

住宅市場
英国経済の
アキレス腱

Chart 2.13: Growth of real GDP and real house prices



Source: ONS, OBR

出典：英財務省予算責任局(OBR) 財政リスク報告書(2019年7月18日)

<https://obr.uk/frr/fiscal-risks-report-july-2019/>

経済指標スコアーボード【英国編】

12項目中
2改善

	数値	傾向	
GDP（前期比）	－0.2%	悪化	↓
インフレ率（CPI）	＋1.7%	悪化	↓
失業率	3.8%	改善	↑
賃金上昇率（ボーナス含）	4%	改善	↑
製造業PMI	47.4	悪化	↓
建築業PMI	45	悪化	↓
サービス業PMI	50.6	悪化	↓
貿易収支	91.4億ポンドの赤字	悪化	↓
鉱工業生産高（前年比）	－0.9%	悪化	↓
住宅価格指数（前年比）	＋0.7%	悪化	↓
小売売上高（前月比）	＋0.2%	悪化	↓
消費者信頼感指数	－14	悪化	↓



要人発言での注意人物

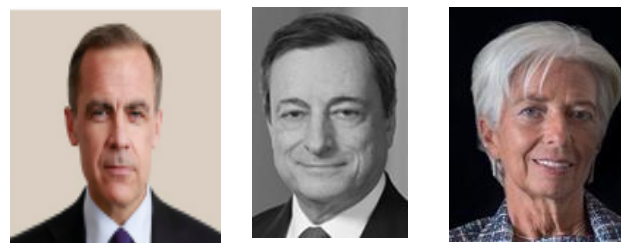


ポンドを動かす要人とは、どんな人たち？

政治関係者



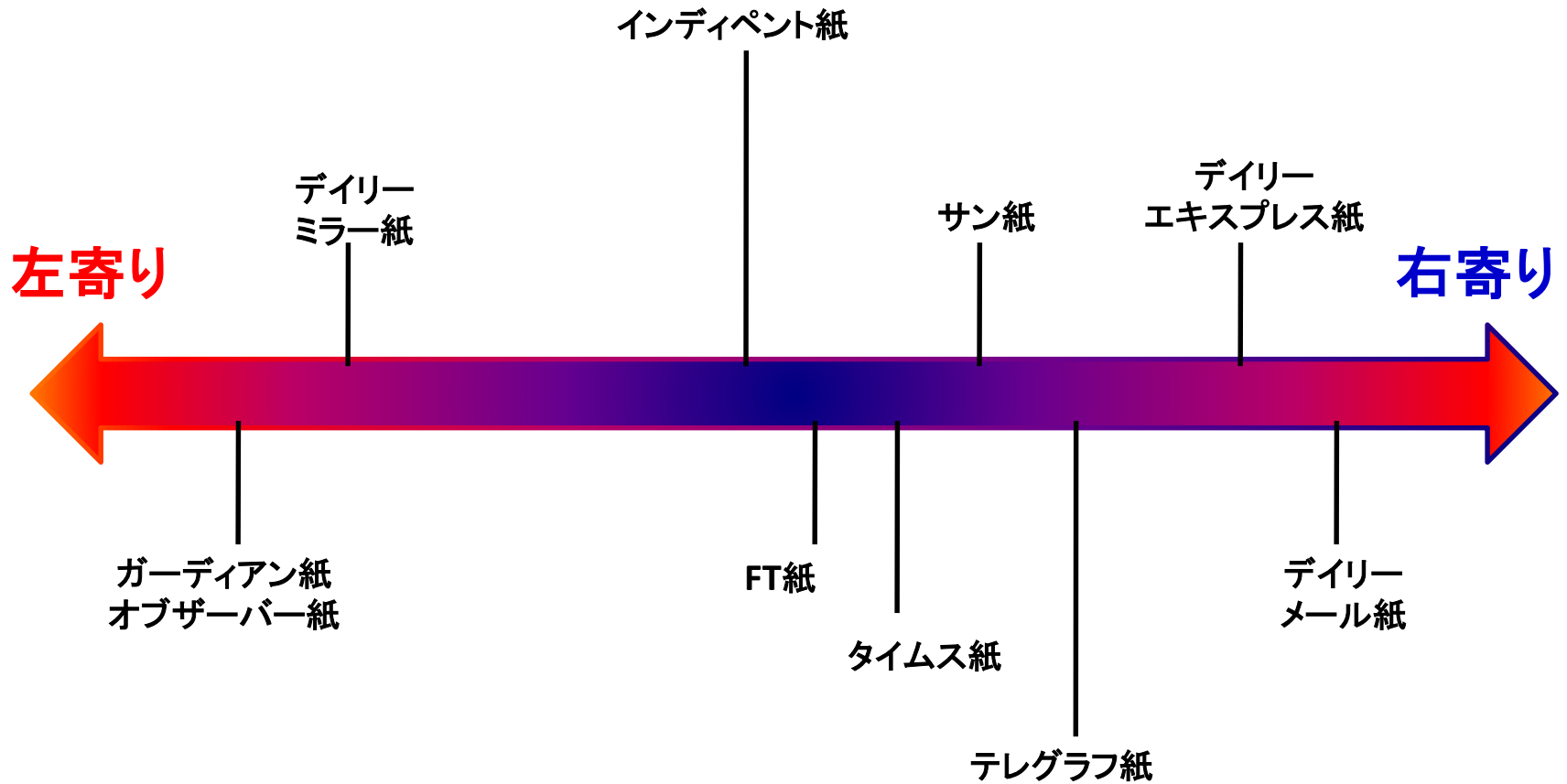
中銀・公的機関 関係者



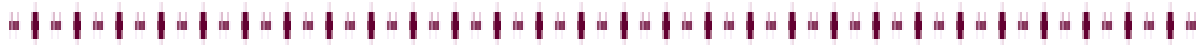
+ 英中銀理事達

写真： 英国議会・英中銀・独連邦議会・欧州委員会・仏エリゼ宮・米ホワイトハウス・英労働党・欧州中銀・IMFホームページ

英国各紙の路線



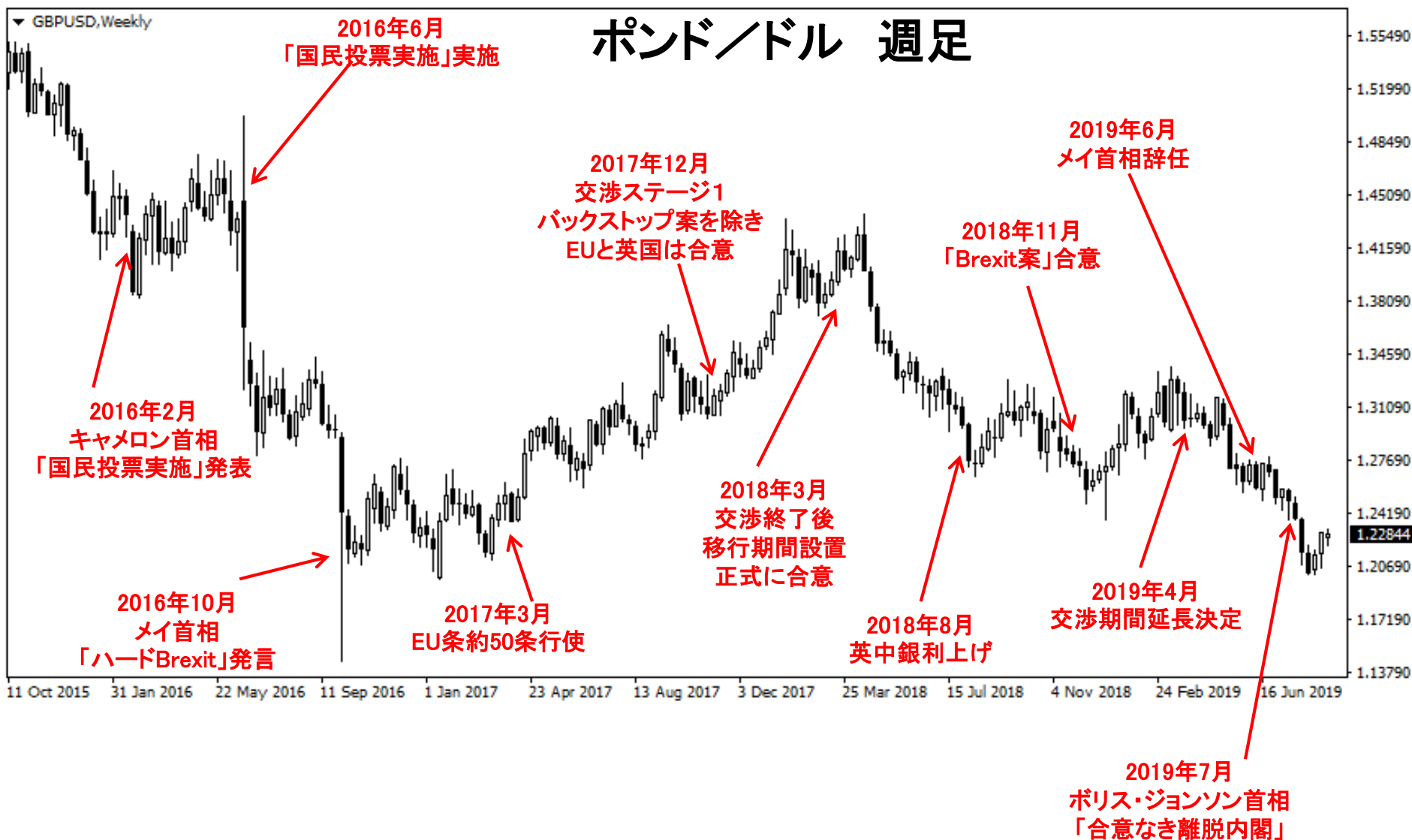
第四部



英国のEU離脱 (Brexit)

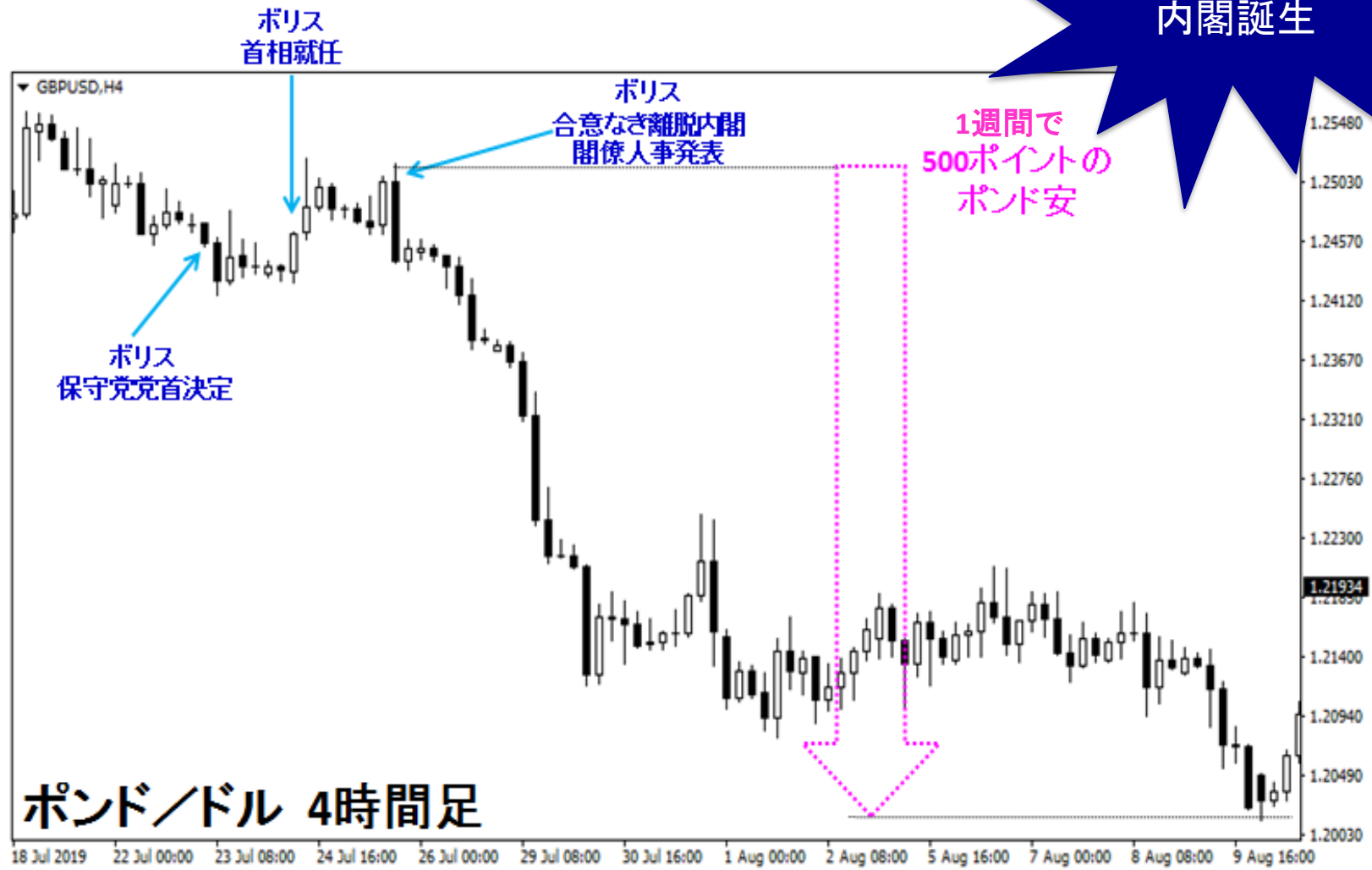


Brexitを巡るポンドの動き

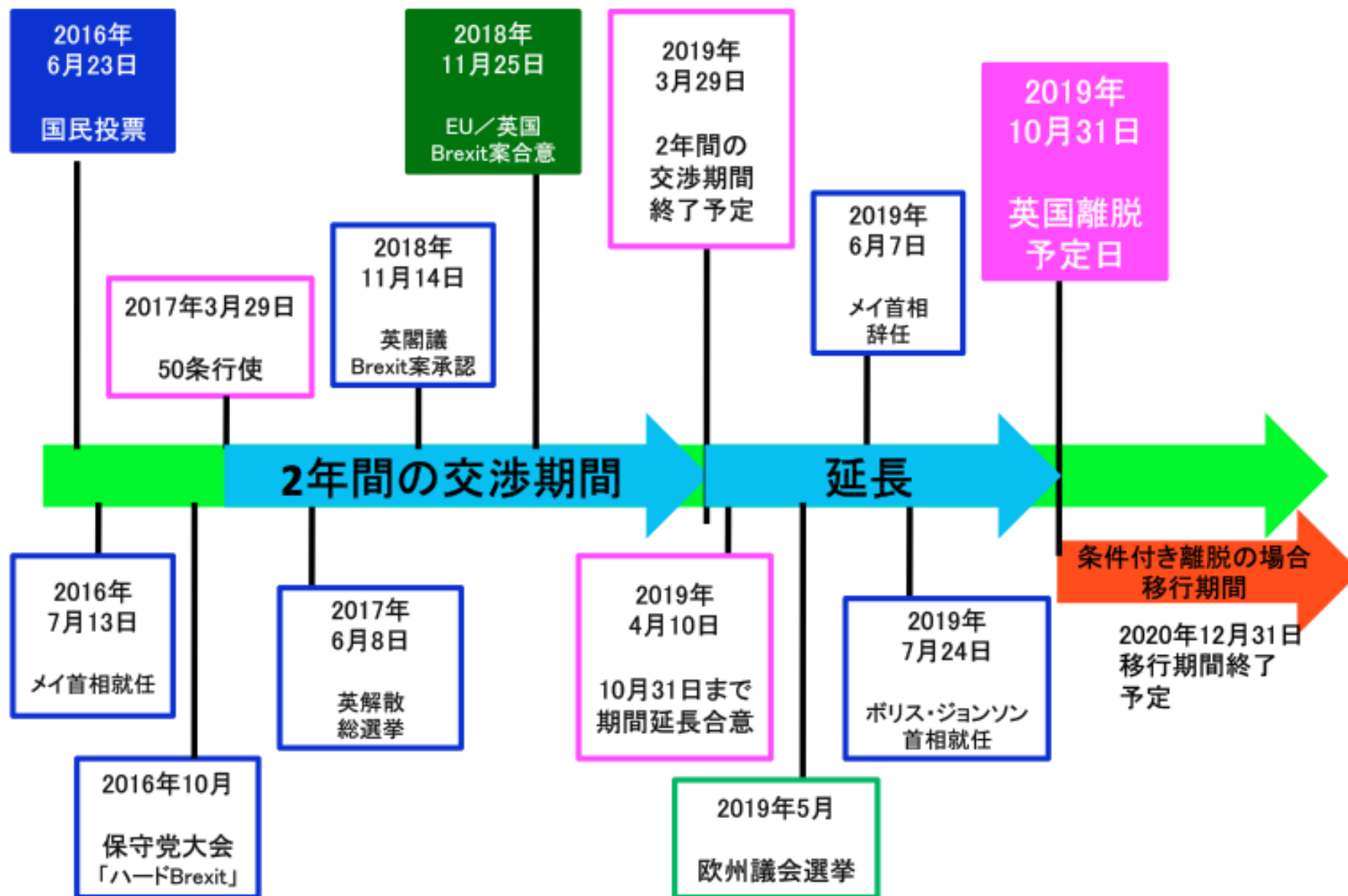


ボリス内閣誕生後のポンド急落

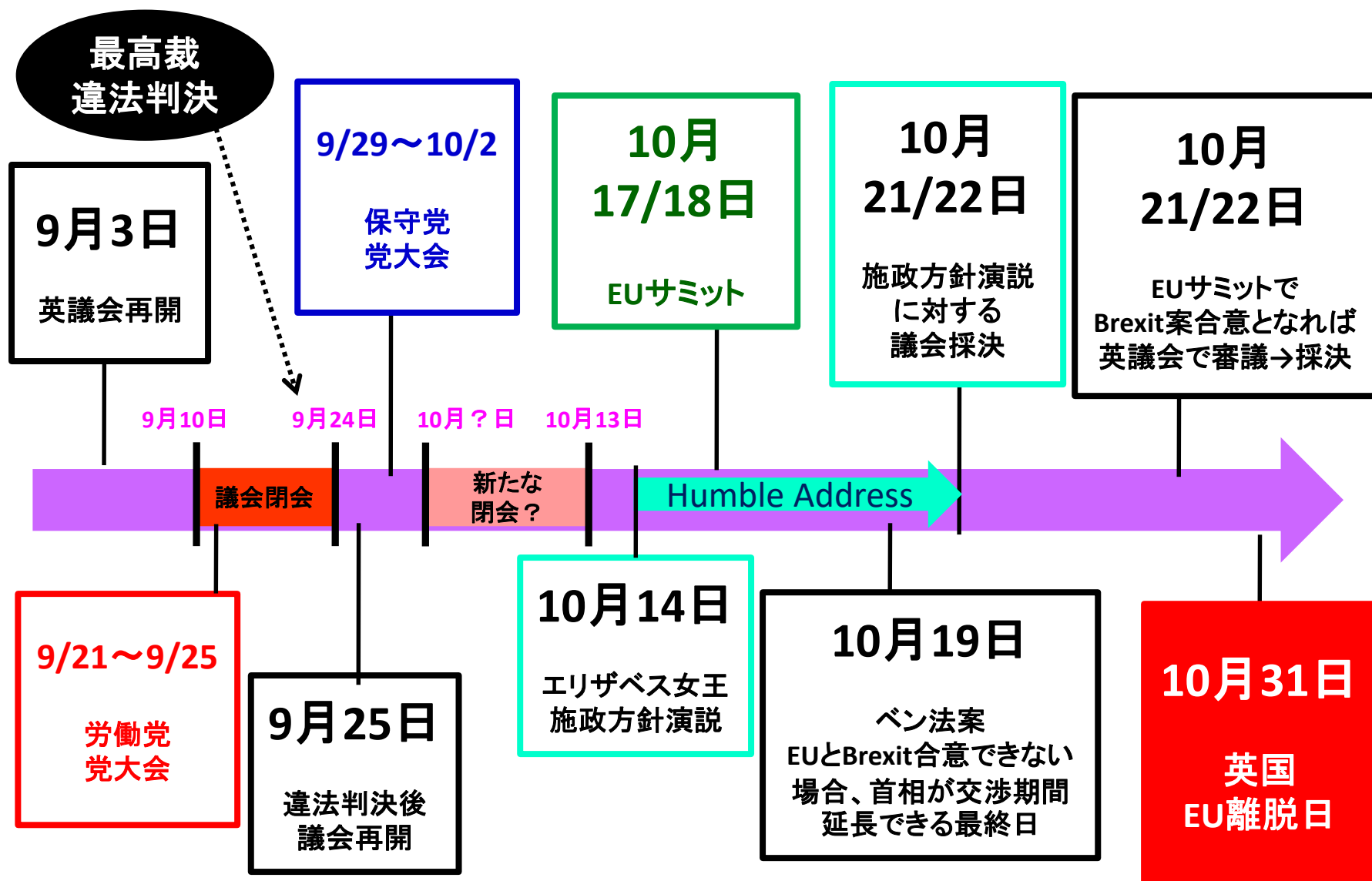
合意なき離脱
内閣誕生



2016年国民投票以降のタイムライン



10月31日までのタイムライン



10月31日までのシナリオ 5つ

**ボリスとEU
ギリギリでの
合意**

10月17/18日
EUサミットで
合意

**交渉期間
延長**

ボリスが渋々
ベン法案に従い
3ヶ月の延長
要請

**最後まで抵抗／
インチキする**

枢密院令により
女王の介入なしに
通過

**合意なき
離脱**

EUとの交渉
完全に決裂

**ボリス
辞任**

エリザベス女王の
異例の介入で？
ボリス辞任

枢密院令 (Order of Council) を迂回させ、
10/31までベン法案を効力停止にする。
枢密院令は勅令とは違い、女王の介入
なしに、枢密院議員により通過可能

労働党ベン法案
10/19までにEUとの合意 X
首相はEUへ2020年1月末まで
交渉期間延長要請の義務

ボリス、Brexit代替案発表

10月2日 ユンケル委員長宛に2つの書類提出

移行期間終了後、
英国連邦王国（イングランド、
スコットランド、ウェールズ、
北アイルランド）は、
欧州関税同盟から離脱する

ベルファスト合意を遵守する
目的で、北アイルランドのみ
農産物と一部の工業製品で
EU規制に従う
（＝南北アイルランドで
共通な統一ルールとなる）

EU規制に従うためには
北アイルランド政府議会で
可決する必要がある

統一ルールに従うことについては
4年ごとに、北アイルランド議会で
採決を実施する

出典： 英国議会ホームページ

https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/836030/Explanatory_Note.pdf

https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/836029/PM_letter_to_Juncker.pdf

北アイルランド 2つの国境



① 赤い国境

英国連合王国全てが
共通の関税規制を導入。
そのため、北アイルランドと
アイルランド共和国との間には、
関税についての「目に見えない
国境」ができる

② 青い国境

北アイルランドは、EU規制を
順守するため、単一同盟ルール
に従う。北アイルランド以外の
英国連合王国は、単一市場から
離脱するため、アイリッシュ海に、
「目に見えない国境」ができる

EUの反応 NOOOOO!



ベルファスト合意を順守するためにも
北アイルランドは、(英国連合王国共通の関税規制では
なく) アイルランド共和国と同じEU関税同盟に残留すべき

そうでなければ、認められない

10月17/18日のEUサミットを見据え
10月11日を交渉最終日とする と宣告

英国政府の秘密文書

英 The Spectator誌が発表した政府秘密文書

- ・ EUとの交渉は、たぶん今週中に終わってしまうだろう
- ・ EU側は、アイルランドが交渉をやりたくなければ、そのまま終了するつもりだろう
- ・ アイルランドの首相が、全く乗り気でない
- ・ EUはもっともっと英国から譲歩を引き出すつもりだ
- ・ 交渉期間を延長したところで、EU側の考えが変わらない限り、時間の無駄
- ・ 延長後に英国政府が新Brexit案を提出することは、ない
- ・ 英国政府は、国民投票結果を尊重し、離脱以外の選択肢は考えていない
- ・ 英国国民は「離脱」を選択したが、EUは「残留」側の肩を持っている
- ・ 今後数日以内に交渉決裂となれば、その後の敗者復活戦はありえない
- ・ 議会に必要なのは、新たな総選挙である
- ・ これ以上の遅延は、Brexit党に有利になるばかりだ
- ・ 英国は、いかなる場合でも、10月31日に離脱する

合意なき離脱後、何が起こる？

貿易

貿易交渉をする
時間がないため、
最初は、WTO
ルールに従う

アイルランド 国境

誰にも
わからない

手切れ金

双方の意見の食い違い

少なくとも、当初予定の
390億ユーロの支払い
全額は必要なし

関税チェック

ドーバー海峡
での検査遅延

英国民への影響

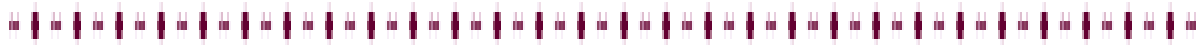
食べ物、薬などの不足
や値上がり

英国のスーパーに置いてある食品/飲料の
79%がEU産

暴動 抗議デモ

残留派 +
スコットランド
独立運動？

第五部



マーケット展望



ポンド、ここまでの織り込み済み材料



織り込み済み材料

- ・ボリス「合意なき離脱」内閣誕生
 - ・政府のデフォルト姿勢は、
「10月31日に、いかなる形にせよ、英国はEUから離脱する」
 - ・ベン法案可決したが、ボリスはいまのところ、完全に無視
 - ・議会5週間に及ぶ休会、最高裁の全会一致「違法」判決
 - ・議会閉会 再度実施か？
 - ・EUも、合意なき離脱リスクを想定している
 - ・EUとの交渉決裂か・・・
- ・急激に「合意なき離脱」が現実味を帯びてきた
 - ・財務相は、景気減速時に財政拡大
 - ・英中銀は、追加緩和示唆
 - ・条件付き離脱となれば、英中銀は引き締め示唆
 - ・カーニー総裁任期延長か？
- ・政府は、合意なき離脱キャンペーンをスタート(1億ポンド規模)

ポンド買い材料／売り材料

まだマーケットに織り込まれていない材料は・・・

買い材料

- ・EUが譲歩する(10/2提出の代替案で合意)
- ・英国が譲歩する(ボリスがさらに妥協する)
- ・どちらかの譲歩により、条件付きで離脱が可能となる
 - ・「残留」が含まれる2度めの国民投票実施
 - ・EU基本条約50条の破棄
 - ・Brexit案、英国議会で可決
- ・解散総選挙（残留支持内閣誕生）

ただし、労働党政権となれば、ポンド買いは続かないと予想

売り材料

- ・英国連合王国の崩壊(スコットランド独立、南北アイルランド統一)
 - ・ベルファスト合意が脅かされる
 - ・施政方針演説内容が議会で否決
- ・Q2、Q3と極端なマイナス成長となり、リセッション確定
 - ・カーニー総裁の後任者が、コテコテの緩和主義者
 - ・財政／金融ともに緩和状態が長期化 或いは加速

ポンド取引時のチャート並べ方



ポンド・クロス比較



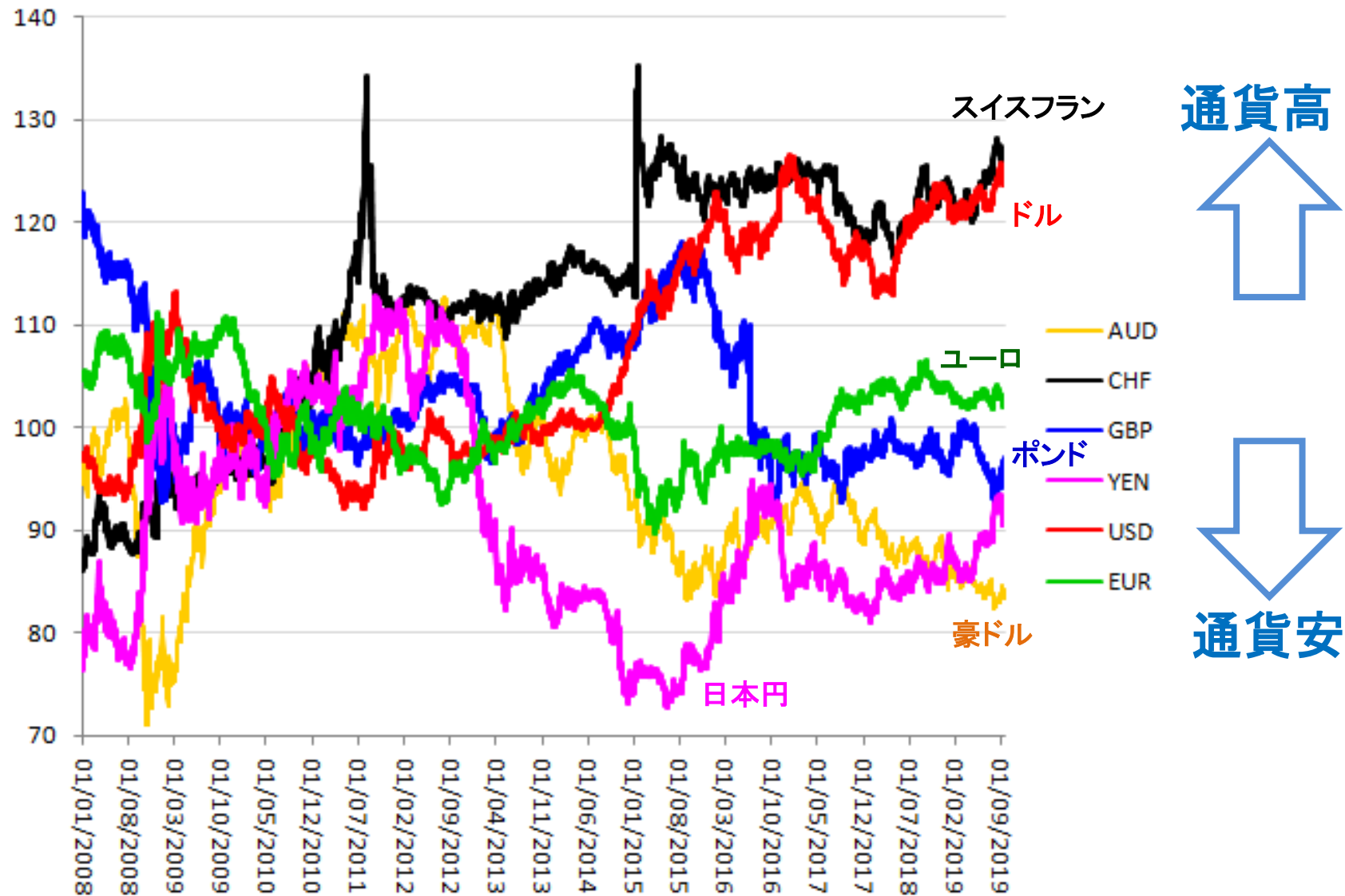
ポンド円・日足



ポンド円・週足



通貨実効レート比較





ロンドンFX ファンダメンタルズ・カレッジ

次期コースは
11月スタート !
10月25日
申込締め切り

詳細は、Webページへ

<https://fundamentals-college.com/>

FXの流儀

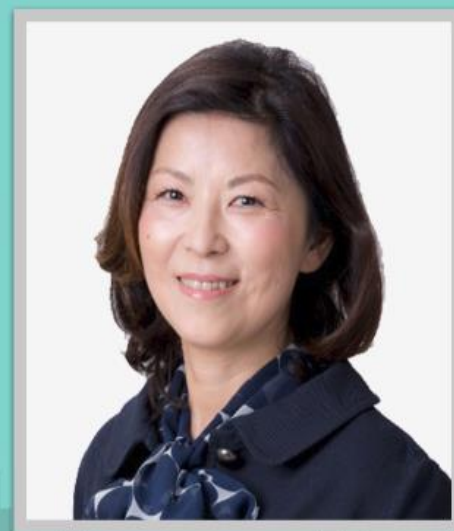
ファンダ・テクニカルを語ろう



齊藤 トモラニ
ウィンインベストジャパン



松崎 美子
ロンドン
FX



月額： 3,900円

詳しくは、DMMサロン

<https://lounge.dmm.com/detail/1215/>

セミナーに関する注意事項

- 本資料中の分析・意見等は、その前提が変更された場合には、変更が必要となる性質を含んでいます。本資料に掲載された意見、推定、見通しは、講演者の講演日付時点における判断に基づいており、予告無しに変更される場合があります。また、当該意見、推定、見通しが実勢と乖離し、不正確となった場合でも本レポートを更新、修正、変更し、受取人或いは閲覧人にその旨を通知する義務は生じません。
- 本資料中の情報は、当社および講演者において信頼できると考える情報源に基づいて作成していますが、当社および講演者は、本資料に記載された情報、意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を明示的にも、黙示的にも一切保証するものではありません。かかる情報、意見等に依拠したことにより生じる一切の損害について、当社および講演者は、一切責任を負いません。
- 本セミナーは、情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品等の売買等を勧奨するものではありません。投資のご判断は、あくまでお客様ご自身で行なってください。
- 本資料および本資料中の情報は秘密であり、著作権は講演者が有します。講演者の文書による事前の同意がない限り、その全部又は一部をコピーすることや、配布することはできません。

取引に関する注意事項

- ・ 店頭外国為替証拠金取引「みんなのFX」「みんなのシストレ」及び店頭外国為替オプション取引「みんなのオプション」は元本や利益を保証するものではなく、相場の変動等により損失が生ずる場合がございます。お取引にあたっては契約締結前交付書面及び約款を十分にご理解頂き、ご自身の責任と判断にてお願いいたします。
- ・ 個人のお客様の証拠金必要額は、各通貨のレートを基に、お取引額の4%（レバレッジ25倍）となります。法人のお客様の証拠金必要額は、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額となります。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。
- ・ レバレッジの効果により預託する証拠金の額以上の取引が可能となりますが、預託した証拠金の額を上回る損失が発生するおそれがございます。
- ・ みんなのFX、みんなのシストレ、みんなのオプションの取引手数料および口座管理費は無料です。
- ・ みんなのシストレの投資助言報酬は片道0.2Pips（税込）でありスプレッドに含まれております。
- ・ スワップポイントは金利情勢等に応じて日々変化するため、受取又は支払の金額が変動したり、受け払いの方向が逆転する可能性があります。
- ・ 当社が提示する売付価格と買付価格には価格差（スプレッド）がございます。お客様の約定結果による実質的なスプレッドは当社が広告で表示しているスプレッドと必ずしも合致しない場合もございます。お取引に際して、当社が広告で表示しているスプレッドを保証するものではありません。
- ・ ロスカットルールは、必ずしもお客様の損失を限定するものではなく、相場変動等により、預託した証拠金以上の損失が発生するおそれがございます。
- ・ みんなのオプションは満期時刻が到来すると自動行使されるヨーロピアンタイプのバイナリーオプション取引です。オプション料を支払うことで将来の一定の権利を購入する取引であることから、その権利が消滅した場合、支払ったオプション料の全額を失うこととなります。
- ・ 購入価格と売却価格は変動します。1Lotあたりの最大価格は、購入の場合990円、売却の場合1,000円です。
- ・ オプション購入後の注文取消は行う事ができませんが、取引可能期間であれば売却は可能です。ただし、売却価格と購入価格には価格差（スプレッド）があり、売却時に損失を被る可能性があります。
- ・ 相場の変動により当社が提示する購入価格よりもお客様に不利な価格で購入が成立する場合があります。また当社の負うリスクの度合いによっては注文の一部もしくは全部を受け付けられない場合がございます。

트레이ダーズ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第123号

**加入している協会: 日本証券業協会 金融先物取引業協会
第二種金融商品取引業協会 日本投資顧問業協会**